

Admission Guide

入学案内 2022

別添 学生募集要項 / 入学志願票 / 推薦書 / 学費・寮費明細

北京外國語大學



Beijing Foreign Studies University
北京外國語大學 中文學部



メッセージ

コメント／教育理念

カリキュラム／学習システム

コメント／国際交流教育後援会

卒業後の進路

在学生の声

私たちの1年／夏季研修ツアー

卒業生の声

キャンパスライフ

北京（所在地）



北京の4年間が
きみを変える。



北京外国語大学は、1941年中国・延安に創設された「延安ロシア語学校」を源流とする伝統と歴史を誇る大学です。創設以来、幾多の優秀な卒業生を送り出し続け、中国国家中枢はもとより世界に活躍する人材を輩出してきました。

現在では、25の学部で1,200人以上の教職員を有し、特に外国語学部は101言語の外国語を教育する中国国内でも有数の教育機関で、国の重点大学の一

つに指定されています。

1992年、北京外国語大学と香坂順一国際交流学院長（当時）との協定により、国際交流学部を設立しました。

その後、アジア各国の留学生に門を開き、さらに近年、目覚ましい中国の社会発展に伴う欧米など世界50カ国余りの国々から集まる留学生の増加と、全学の国際交流事業の充実に即して「中文学部」（原名は中国語言文学院）と名称を改め、発展を続けています。

中国トップレベルの

外国語大学への誘い



北京外国語大学
学長 楊丹

北京外国語大学は北京市海淀区西三環北路に位置し、三環路を挟み東西二つのキャンパスに分かれております。本学は中国の教育部（日本の文部科学省にあたる）が直轄し、中国で初めて「211工程（中国全国で約100校の指定重点大学）」と「985工程（世界レベルの大学を構築するため211工程より選ばれた約40校の重点大学）」対象校に指定され、さらに最初に「双一流（世界一流大学・世界一流学科）」に指定された高等教育機関でもあります。

本学は中国共産党によって創設された最初の外国語高等教育機関で、前身は1941年に建学された延安外国語学校です。新中国成立後は外交部（日本の外務省にあたる）の管轄に属し、1954年に北京外国語学院と改称され、1980年以降は教育部の管轄となり、1994年に北京外国語大学に改称されました。

現在、北京外国語大学では101の外国言語の授業を開設しており、これは現在中国と国交のあるすべての国の公用語の授業を開設していることとなります。また、本学には121の専攻科があり、うち44の専攻科は全国でも本学にしかない専攻科となっており、現状では国家重点学科は4科、北京市重点学科は7科を有しております。現在、約5,600人の本科大学生、約3,100人の大学院生（修士・博士生）、約1,600人の留学生が学んでおります。

人材管理システムの刷新により、教師陣のレベルを全面

的に引き上げ、現在の教職員数は1,200余名で、教師の90%以上は海外での教学経験を有しております。また、世界60の国と地域から招聘している外国籍教員は200名近くにのぼっております。

過去70数年にわたり、本学は中国と世界の懸け橋となるべく人材の育成に尽力し、国内の最も優秀な外交官、政治家、弁護士、記者、学者、実業界のリーダー、そして数多の専門人材を育成し、中国国内では「共和国外交官のゆりかご」という栄誉を得ております。

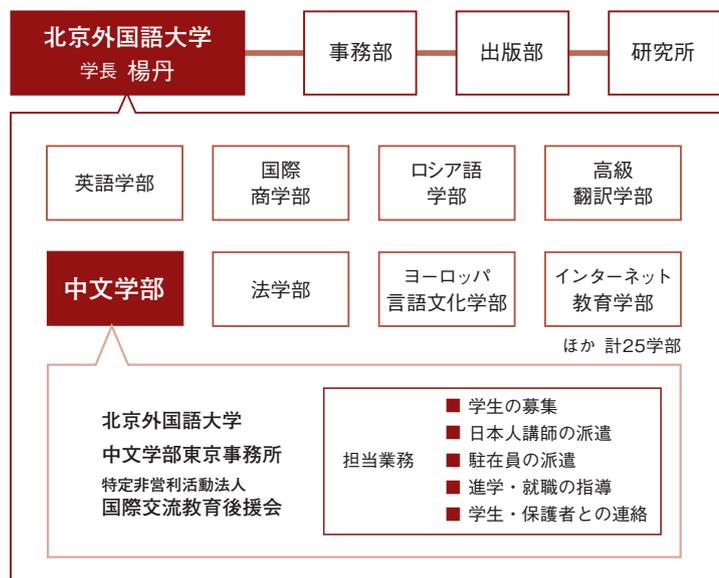
私たち北京外国語大学はすべての学生に家族のような温かさと、同時に厳格で多様な学科のカリキュラムを提供しています。小さくとも学生一人ひとりを大切に、学生の誰もがワクワクするような大学生活を過ごしてもらっています。北京外国語大学では、学生の誰もが自分の学問的潜在能力を発掘でき、多様なサークル活動を享受でき、広範な社会的実践に参加するチャンスを得られると、私たちは信じています。

皆さまが北京外国語大学で学ばれることを心より歓迎いたします。ここでは、多種多様な文化を体験できる上に、あなたの独特な個性を持ち続けることができます。北京外国語大学では、皆さまにとって最良の学業と個性を伸ばす機会を提供しています。

中文学部の機構と組織

中文学部では、留学した日本人学生が勉強に専念できるよう、万全の機構と組織を整え、自然に恵まれた環境・寮・教育設備をもっています。

また授業は北京外国語大学の現役教授と、日本から派遣する日本人派遣講師で構成するカリキュラムによって行われ、学生が安心して生活・勉強できるよう国際交流教育後援会が派遣した駐在員が多岐にわたってサポートしています。





北京外国語大学
中国語言文学学院
(中文学部)

学部長
詹 福瑞

北京外国語大学は教育部直轄の全国重点大学の一つであり、中国の高等教育機関の中で最も長い歴史を有する、最も多くの言語を教授する、教育体系を完備している外国語大学です。

北京外国語大学中国語言文学学院（以下、「中文学部」とする）は中国人学生教育と留学生教育を一体化した教学研究機関であり、中国で最も早くに留学生を受け入れ、留学生教育にたずさわった学部であり、中国で最も早くに中国語国際教育専攻科（対外中国語専攻科の前身）と中国語国際教育修士専攻科を設置した学部の一つです。本学部は多岐の分野にわたる学科を有し、経験豊富で、職務に熱心な人材をそろえています。現在は専任教師が70名近く、兼任教師が60名近くおります。そのうち高位職階の教師は全教教師の50%を占め、博士学位を有する者は全教師の56%を占めます。また大多数の教師は海外での教学、職務経験を有しています。

中文学部は高度にグローバル化された学部であり、その下に中文学科、対外中国語学科と中国語研修訓練センターという三つの教育部門があります。本学部の全専攻科はいずれも世界に向けて新入生を募集し、また国家漢弁（国家漢語国際推広領導小組弁公室〔国家漢語国際普及指導グループ事務室〕の略称）の新中国学計画の受講生を受け入れ、育成しています。

現在本学部の国内外を合わせた在學生は1,300名近く、内訳は中国人學生600名近く、留学生700名近くとなっています。留学生は世界の50余カ国から、中国人學生は国内各地から来ております。同じ学部で学び、同じ教室で授業を受け、自由に交流することで、他では得難いグローバルな学習環境が形成されています。中国と外国の學生の学習のために異文化交流のプラットフォームを構築し、學生たちの学習効果と異文化コミュニケーション能力を著しく向上させています。



北京外国語大学
中国語言文学学院
(中文学部)

執行学部長
張 曉慧

中文学部の本科留学生教育は、中国語に精通した、中国文化および国情に熟知した優秀な人材の育成を目標としています。4年制本科留学生の募集は春期と秋期に分かれており、現在約700名の在校生がおります。

中文学部の本科留学生教育は1992年に始まり、今では整った教学モデルとカリキュラムを構築しており、教学全体設計、カリキュラム編成、テストと評価、教学指導と授業評価制などを含む総合的な教学管理制度を確立しています。知識の体系性はもちろんのこと、學生の言語コミュニケーション能力の育成にも非常に力を入れています。専攻に関しては、中国語専攻を基礎に、中国語語学、文学文化、経済貿易、中外翻訳、中国語教員養成の5つの専攻コースがあります。

長年にわたり中文学部は日本、韓国、マレーシア、タイなどの大学と学術交流およびパートナーシップを築いてきました。日本のNPO国際交流教育後援会、マレーシア政府、マレーシア・マラグループなどは毎年選抜した學生を中文学部に派遣しています。また、外国の大学と連携して本科留学生を育成するダブルディグリー（2学位取得）プログラムもあり、「2+2」、または「3+1」の方式で協力しています。

本学部はこれまでに2,000余名の本科留学卒業生を送り出しました。卒業生はそれぞれ世界各国の教育、文化、経済貿易、外交などの分野において活躍し、中国とほかの国々との協力および交流に積極的に貢献しています。

将来の夢に向けて チャレンジを！



特定非営利活動法人
国際交流教育後援会 理事長代行 木村 太郎

今や、世界第2位の経済大国になった中国。日本をはじめ世界各国は、中国経済と密接な関係なしには成り立たなくなっていると言っても過言ではありません。また、中国語を母語とする人口は、中国はもとより世界中に分布し、まさに中国語は世界最大の母語話者人口を擁する言語となっており、国連の公用語の一つにも採用されています。このような状況下、昨今、中国では留学生が増えています。北京外国語大学にも日本や韓国などのアジア諸国、さらに欧米諸国からの留学生が多数在学しています。

もともと外交官や通訳者養成を目的として、留学生を積極的に受け入れてきた北京外国語大学は、中国の伝統ある国家重点大学のひとつとして知られており、その中国語教育のレベルは世界トップクラスと言えます。しかも50か国以上の留学生が集うキャンパスはウルトラグローバルです。留学生受け入れ環境も抜群で、図書館はいうに及ばず、カフェ、スポーツジムなどの共用施設は、夜遅くまで各国からの留学生の活気に満ちあふれています。留学を終えた皆さんが、中国をめぐる国際経済、貿易などの分野において国際人として大いに活躍されるこ

とを期待するものです。

本会が提供する北京外国語大学中文学部正規留学プログラムは、学内では、敬意をもって「香坂班」と称される日本人留学生だけのために設けられた特別なプログラムです。

中国語力ゼロからのスタートでも4年間で学位取得を可能とする正規留学プログラムは、世界でも類を見ないのではないのでしょうか。

本会は北京外国語大学中文学部の東京事務所として、受け入れ窓口の役割を担うだけでなく、香坂班で学ぶ学生の保護者で構成される教育父母会と密接に連携して、入学後の学習・生活指導、卒業・学位取得に至るまでの支援体制を取っています。大学との強固な連携により、大学構内に専用の常設事務所を設置し、日本人職員1名の常駐により、緊急時にも最良の対応が可能な体制は、必ずや、皆さんの中国留学を成功に導くはずで

す。4年間の北京留学があなたを変える——中国語、そして中国を学び、皆さんの将来の夢の実現に向けて、ぜひチャレンジをしてください。



2020年1月 卒業式合同記念撮影

井戸を掘った 人の名は 消えない

日本有数の中国語学者・香坂順一は、大東文化大学学長のときに実現した北京外国語大学との間の強い提携を基盤に、同大学長の退任前後に交渉を重ね、1992年、長年の夢であった日本人留学生のための4年制本科、「国際交流学部」(現中文学部)設立の協定を結びました。

日本人学生の理想的な教育環境を作りたいという香坂順一の熱情に、中国政府・大学側も最大の厚意で応え、同大学および他国からの留学生と異なる学制を設けて、日本社会の慣例に沿った4月から3月の学年度、日本人講師による教養課程の履修などが認められました。さらに卒業によって、北京外国語大学の卒業証書、学士号証書の授与が定められました。この留学システムは、中国はもとより、世界においても稀有のものといえましょう。

中国には、「井戸を掘った人を忘れぬ」という成句があります。

香坂順一と北京外国語大学が、未来を築く共通の理念と、努力を惜しまぬ共同の作業で設立したこの学部は、時代の



元NPO法人
国際交流教育後援会名誉会長
故 香坂 順一

【プロフィール】

大正4年(1915年)6月7日生、昭和13年東京外語支那語部卒業、中国嶺南大学(現中山大学)修了。横浜高商、台北高商、台湾大学法政学部、大阪市立大学教授、北京大学外籍教授、大東文化大学学長、日本中国語検定協会理事長、北京外国語大学董事(理事)などを歴任。主著「現代中国辞典」「水滸伝語彙の研究」「白話語彙の研究」「中国語大辞典」(角川書店)など。平成15年(2003年)7月22日没。

変遷とともにアジア・欧米の学生にも門戸を開き、名称も変わりました。しかし北京外国語大学は、この留学システムを、今も公式に「香坂班」と呼んでいます。



2019年4月 日中青少年交流推進年オープニングセレモニー

キャンパスではもちろん、キャンパスの外へ出て学びます

中文学部留学生本科教育の特徴

- (1) 専攻コース選択。本科1、2年次は専攻コースを分けません。3年次より学生の興味と希望に基づき、中国語コース、経済貿易コース、中国語教師コースなどの専攻コースを選びます。
- (2) カリキュラム設計。本学部のカリキュラムには必修課程、専攻選択課程、普通選択課程および種々の自由課程があります。加えて、「香坂班」には日本語による一般教養課程もあります。また、複数の外国語課程、例えば英語、日本語なども開設しています。
- (3) 学生の知識面を広げるために、中国文化と風土・世情、現代中国の政治と経済に対する理解を深めるために、4年次の第1学期に上海、杭州、蘇州などの地を巡る卒業実習を実施しています。
- (4) 卒業論文指導科目を開設し、4年次に卒業論文指導教員を配置し、学生の卒業論文の具体的な指導と内容のチェックを行っています。
- (5) 奨励制度。品行方正かつ学業優秀な学生については、国家奨学金、孔子学院奨学金などの申請を奨励しています。このほかに本学部は「優秀学生賞」「優秀班長賞」「優秀卒業論文賞」「皆勤賞」などの表彰も行っています。

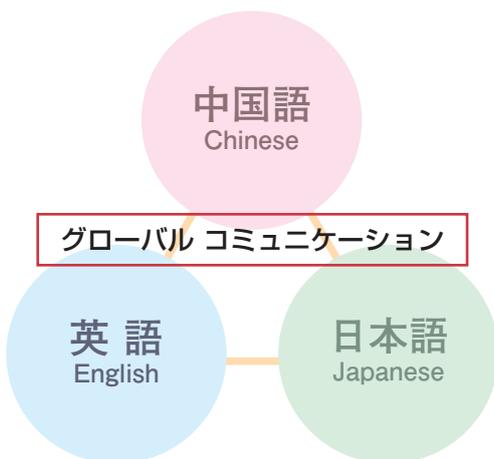
学期ごとの語学実践と文化体験イベント

- (1) 技芸大会、作文コンクール、弁論大会、テレビ弁論大会、運動会、週末映画鑑賞、中国語コーナー、国際美食祭り、新年演芸の夕べなどのイベントを定期的に開催し、学生の中国語コミュニケーション能力を高められるよう工夫を凝らしています。また、本学部の留学生は全国規模あるいは北京市のコンクールにおいて優秀賞を多数獲得しています。
- (2) 授業の延長上に、学習への意欲と情熱を刺激し、中国社会への理解をより深めてもらうために語学実践と中華文化の体験を行っています。
 - ①北京市内：万里の長城、故宮博物院、頤和園など北京市内の名所旧跡への観光旅行や、中国カンフー、切り紙細工、泥人形作りなどの民俗芸能鑑賞
 - ②北京市外：天津、承德、上海、西安、青島、安徽黄山、山東曲阜、山西平遥などの地域に出かけ、現地の人たちとの交流、工場や農村の見学、名所旧跡巡りなど

中文学部ならではの 独特のカリキュラム・学習システム

中国語・英語・日本語の3カ国語教育

国際社会で活躍できる人材の育成を第一に、中国語教育を柱に、英語、日本語を組み合わせた高い水準のカリキュラムを編んでいます。中国の重点大学である北京外国語大学の優れた教授陣のほか、特に日本人の派遣講師による講義も取り入れるなど、他に見られない独特のカリキュラム構成が特色です。



Point 1 優れた教師陣が中国語の講義を行います。語学に留まらず、中国の文化・歴史、政治・経済の素養も同時に学んでいきます。

Point 2 世界へ羽ばたくために不可欠な英語教育にも力を入れます。

Point 3 日中間のより深い相互理解のため、それぞれの国の言語比較や歴史・文化などについて学びます。

Point 4 教養科目として、日本から派遣講師を招いて、日本語表現法、文化、経営学、政治・経済学などを学んでいきます。



中国語教育 少人数で密度の濃い授業を実践します。

中国語はまったくの初歩から始めます。また、日本と違い1クラス10名から20名の少人数で密度の高い授業が行われます。

語学は知識として学ぶと同時に、活用できる技能のひとつとして身につけられるように口移しの学習が重視されています。

基礎中国語（初級・中級・上級）

中国語会話
中国語ヒアリング
中国語文章表現
中国語視聴覚
中国語情報処理
中国語誤用分析
中国語概論、経済貿易中国語

英語教育 直接法と間接法の授業の併用でより高い学習効果を引き出します。

これから国際社会に出ようとする人にとって英語の習得は欠かせません。授業は日本語だけで行うのではなく、英語で教える直接法、また中国語を媒介とした間接法の併用によって一段と学習効果が高まります。教授法が日本とは異なりますので、初歩から教えるというかたちで取り組むこととなります。

英語総合（初級・中級・上級）
英語演習
TOEFL

日本語教育 日本語の表現力と日本を学び中国語能力の向上へとつなげます。

中文学部では、日本から講師を派遣し、教養科目を日本の大学と同じように講義します。この制度は北京外国語大学との協定により教育部（日本の文部科学省にあたる）の認可を受けている、ほかの大学には見られない特別なものです。いかに中国語ができても中国語から日本語への的確な翻訳・通訳をするためには、高い日本語の表現力が不可欠です。また、母国の文化を学ぶことは、外国語の能力を高める必須条件なのです。講師は学内の宿舎に滞在していますので、皆さんの将来についての相談にも親身になってくださることでしょう。

北京外国語大学 中文学部

対外中国語学科課程

※カリキュラムは年度により変更されることがあります。

第1学年

- 初級中国語総合
- 初級中国語ヒアリング
- 初級中国語閲読
- 初級中国語口頭表現
- 英語総合

第2学年

- 中級中国語総合
- 英語総合
- 中国概況
- 中級中国語会話
- TOEFL
- 中級発音
- 中級中国語閲読
- 中国語文章表現入門
- 中級中国語慣用句
- HSK5級の文法と語彙

第3学年

中国語専攻・経済貿易コース

- 経済貿易中国語
- ビジネス文章表現
- 経済貿易口頭表現
- 国際金融
- 英語演習
- 国際貿易
- 電子商取引
- 中国語情報処理
- 国際商法
- 管理学

中国語専攻

- 上級中国語
- 中国語情報処理
- 中国語視聴覚
- 中級中国語
- 上級中国語文章表現
- 中国語概論
- 上級中国語慣用語
- 英語演習
- 中国映画鑑賞
- 中級中国語文法

第4学年

中国語専攻・経済貿易コース

- 経済貿易上級中国語
- 卒業論文
- 経済貿易視聴覚
- 中国起業論
- 卒業実習
- マーケティング
- 翻訳
- その他
- 卒業論文指導
- HSK6級の文法と語彙

中国語専攻

- 上級中国語
- 中国語誤用分析
- 翻訳
- 中国語語彙通論
- 上級中国語視聴覚
- HSK6級の文法と語彙
- 卒業実習
- 中国散文小説観賞
- 卒業論文指導
- その他
- 卒業論文

北京外国語大学 中文学部 日本人派遣講師講義カリキュラム

- 経済学概論
- 日中文化比較論
- 国際交流論
- 日本法学概論
- 情報学概論
- 哲学
- 日中言語比較論
- 心理学
- 中国近現代史
- メディアコミュニケーション論
- 経営学
- 中国現代経済論
- 日本語表現法
- その他

学習支援

◆中国語スタディスキル (補習)

就職支援

- ◆1年次
 - キャリアプラン入門
 - 業界職種研究
 - 模擬面接
- ◆3年次
 - キャリアプラン講座
 - 履歴書の書き方
 - 筆記試験対策
 - 就業体験型 など
- ◆インターンシップ

北京の4年間は きみを変える

北京外国語大学
留学生弁公室
主任 李 氷



北京外国語大学は1941年に創設され、中国で最も歴史が古く、最も多くの言語を教授する教育体系を完備した外国語大学であり、また中国で最初に外国人留学生を受け入れ、中国語課程を開設した高等教育機関の一つでもあります。

北外は101の外国語言語、121の専攻科を有し、海外に23か所の孔子学院を有し、国内トップクラスに位置し、世界各地の400以上の大学と交流協定を交わしています。

北外は不断に多言語と活発な国際交流提携という優位性を活かし、大学の高品質な資源と連結し、外国人学生の募集および育成システムの新モデルを積極的に模索しています。2008年より、本学の留学生教育は非言語学科国際化課程へといっそう発展を遂げ、単一の中国語教育から非中国語教育と学歴取得教育への転換に成功しました。現在、本学の外国人学生募集業務と育成計画は絶えず整備され、一般中国語研修から学歴（学士、修士、博士）取得教育まで、数週間の短期強化研修から数年間にわた

る系統的学習まで多層的な教学体系を形成しています。

現在まで、本学はすでに外国人学生3万余名を育成し、卒業生は世界各国の外交、教育、新聞出版、経済貿易などの領域で活躍し、はなばなしい業績をあげています。北外には世界109か国の約1,600名近くの外国人学生が在籍しており、日本の高校生がここに学びに来れば、世界各地の友人と知り合いになることができます。

今後、私たちは従来どおり北京外国語大学の建学理念「外[外国語]、特[特色]、精[エリート]」と校訓「兼容蓄[異なるものを同時に受容する]、博学篤行[広く学び篤く行ふ]」の精神を受け継ぎ、本学の外国人留学生に対しては中国を知り、中国の友となるような人材になってもらうように育ててきています。思考弁別能力と異文化を乗り越える能力をもち、異文化への理解力が高い、卓越した競争力とグローバルに活躍できるハイスベックな人材を育成するよう絶えず力を注ぎます！

北京での留学生生活を サポートします。

国際交流教育後援会
北京事務所駐在員
松田 貴博



国際交流教育後援会の北京事務所は東院の中文学部内にあります。駐在している私の主な業務は下記のようになります。

- (1) 学生の皆さんの生活上や学習上の悩み、困ったときの相談（毎年1回全員に個人面談を実施しています）。
- (2) 皆さんの中国語の学習に対するモチベーションの強化（学習方法のアドバイス、希望者への学習会実施、相互学習やランゲージパートナーの紹介）、就職活動のアドバイスなど。

- (3) 成績表・出席表、学部から出される学務資料を本部へ伝達。学生の皆さんには、学習に専念してもらうよう支援いたしております。

一見4年間という留学期間は長いように思えますが、あっという間に過ぎてしまうでしょう。この4年間で皆さんがより実践的な中国語力を付けられるよう、人としてより成長できるよう、何よりも卒業するときに「北京外国語大学」そして「香坂班」の看板を背負い世界に羽ばたけるようサポートをしていきたいと考えております。どうかよろしく願いいたします。

入学から卒業・就職まで、 留学生生活をサポートします。

国際交流教育後援会が、勉強から私生活まで留学生生活を全面的にバックアップ。就業体験型インターンシップの実施、就職活動のサポートも行っています。困ったときには、一人で悩まないで北京駐在員にご相談ください。



2019年度入学式後の集合写真

私たち国際交流教育後援会は、北京外国語大学中文学部の東京事務所の役割を担い、推薦入学、学費納入の代行、留学に必要な諸手続きの代行、入学後の学習、生活指導、就職活動のバックアップ体制をとっています。日本では得難い恵まれた条件の中で4年間の充実した留学生生活を送れるよう、支援体制をとっております。北京外国語大学・中文学部は、皆さんを心から待っています。

教育父母会との連携

■教育父母会とは

北京外国語大学中文学部香坂班で学ぶ子供たちを持つ保護者で構成される、発足から25年の組織です。北京外国語大学・東京事務所と連携し、北京で学ぶ子供たちが学業に専念できるように、そして安心して生活できるようにサポートを展開しています。

■教育父母会の主な活動

年1回行われる通常総会において選定された役員が中心となり、以下の取り組みを行っています。—北京外国語大学・東京事務所から報告される現地動

向や学校行事などに関する、保護者向け情報発信（父母会ニュースおよびブログサイト）。北京で生活する子供たちに関わる各種課題解決に向けた活動、保護者からの様々な相談への対応。

■教育父母会定例会

毎月（1、2、8、9、11月を除く）開催する定例会では、北京駐在員からの最新情報を入手しています。また、集まった保護者間での情報共有やさまざまな相談を行える場と位置付けることで、離れた地で生活する子供たちに対する保護者の不安解消に役立っています。

■通常総会・懇親会

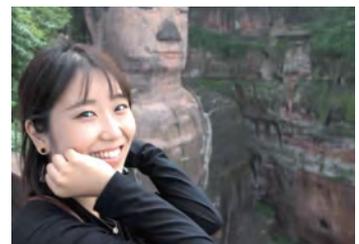
毎年7月に開催。通常総会では、父母会会員や在学生、NPO国際交流教育後援会の皆様にご出席をいただき、年次活動の報告や各種議案決議を行っております。また総会終了後、北京外大から招聘した先生の講演会を開催しています。先生方のお話を、日本で“生”でお聞きできることが、保護者の皆さまに好評です。懇親会は、父母会OBや卒業生もお招きして、盛大な交流の場となっています。

閲覧室の設置

学生寮の中にNPO法人が派遣する学生専用の閲覧室を設置しております。中国に関する書籍をはじめ、小説、ルポルタージュ、政治・経済・歴史関係など、さまざまな書籍をそろえ、学生の勉学や生活に役立つよう配慮しています。

香坂順一賞

2003年7月、中文学部の設立に寄与された香坂順一先生の逝去の後、香坂家から寄託された基金により『香坂順一賞』が制定されました。この賞は毎年の卒業生の中から、香坂先生が理念とされた「学業修得とともに国際人としての人格を形成する」に最もふさわしい学生1名を選び授与するものです。



2021年卒業 香坂順一賞受賞者：土谷佳奈

就職活動をサポート

日本から専門的に就職活動を教授する講師を派遣し、就活の流れ、業界・職種研究、適性を見つけるための自己分析、履歴書・エントリーシートの書き方、筆記試験対策などの就職活動支援を行っています。さらに就業体験型インターンシップも実施しています。

毎年、卒業間近の4年生から後輩の学生に、就職活動の体験発表と相談会を提供してもらうのが伝統になっています。また、1年生対象に留学生活における学習や生活のアドバイスもされています。これらの活動を通して、学生間の絆がより深まっています。

〈模擬グループ討論〉



〈マイナビ国際派就職ガイダンス〉



〈1年生向けのキャリア形成〉



〈ACSA (アクサ) 就活セミナー〉



卒業後の主な進路

中文学部を卒業した先輩達は、日本や海外で夢を叶え活躍しています。

【食品・化学関係】

(株)伊藤園
伊藤ハム(株)
(株)カネボウ
コスモ石油(株)
(株)資生堂
(株)松屋フーズ
(株)吉野家ディーアンドシー
ワダカン食品(株)

【電気・再生エネルギー・機械関係】

沖電気工業(株)
オムロン(株)
梶原工業(株)
(株)技術製作所
KOA (株)
(株)多加良製作所
日本分光(株)
日立電線(株)
フナイ電気(株)
ぺんてる(株)
ミネベア(株)
(株)八幡ネジ
(株)ヤマダ電機
(株)Looop
(株)YKK

【情報通信関係】

(株) NEC ソフト沖縄
(株) NTT ドコモ
(株)ソフトバンク
(株)大庄
(株)ディスタントビュー
(株)デオデオ
(株)デル
トランスコスモス(株)

(株)光通信
富士通(株)
フジテック(株)
松下電送(株)

【不動産・建築】

(株)三栄建築設計

【商社関係・製造・小売】

アデコ(株)
アパマーケティング(株)
飯島物産(株)
伊藤忠商事(株)
(株)イトーヨーカドー
(株)イブサ
江守商事(株)
大分キャノンマテリアル(株)
(株)オンワード樫山
(株)カナモト
群馬友好貿易(株)
(株)小泉
(株)ザ・ギンザ
CBC (株)
ジャスコ(株)
(株)ダイエー
(株)Tokyo Base
(株)トミー
(株)豊通マシナリー
トランスコスモス(株)
(株)ドンキホーテ
日通商事(株)
(株)ニデック
(株)ニトリ
(株)阪急阪神百貨店
日立化成商事(株)
(株)ビックカメラ
(株)ファーストリテイリング

不二貿易(株)
(株)ベルーナ
(株)ヤマダヤ
(株)ヨドバシカメラ

【運輸・運輸機器】

アーク引越センター(株)
オリエンタルモーター(株)
鴻池運輸(株)
(株)交洋
梱包運輸倉庫(株)
(株)レアール

【銀行・金融】

SMBC 日興証券(株)
野村証券(株)
プレミアファイナンシャル
サービス(株)
(株)みちのく銀行
三井住友ファイナンス&リース(株)

【保険会社】

(株)ジック

【観光】

(株)日本交通公社
(株)名鉄観光
よろずや観光(株)
リゾートトラスト(株)

【学校関係】

NSG 新潟総合学院
東京ワールド外語学院
ライセンスアカデミー日本語学校

【公共事業・航空】

助沖縄県人材育成財団

NPO法人国際交流教育後援会
日本放送協会
中国国際航空
中国春秋航空
中国東方航空
成田国際空港(株)

【ホテル】

(株)パンパシフィックホテル
北京光明飯店
(株)ホテルニューオータニ

【娯楽・芸能】

(株)オリエンタルランド
セントラルスポーツ(株)

【国・公・地 公務員】

外務省
地方公務員
埼玉県上尾市役所
埼玉県警
千葉県庁職員
東京都足立区役所
栃木県宇都宮市役所
長野県松本市役所
山梨県甲府市役所

【その他】

エストウエストオークションズ(株)
関西エアポートリテールサービス(株)
サクライインターナショナル(株)
ニプロ(株)
レバレッジズ(株)
レバレリーズ(株)

ほか多数

〈現地企業・団体〉

奥美工業(香港)
広東三洋科龍冷(広東)
集合智造(北京)科技有限公司
東莞嘉財電子(広東)
南京日本語学院(南京)
光通信(大連)
ヒューレット・パッカード(上海)
ヒューレット・パッカード(大連)
北京光明飯店
北京日本学研究センター
松下電子部品(天津)

〈大学院進学先〉

【国外】

オークランド語学大学大学院(NZ)
ハーバード大学大学院(米国)
北京外国語大学大学院(中国)
北京師範大学大学院(中国)
北京大学大学院(中国)

【国内】

愛知大学大学院
共立女子大学大学院
皇學館大學大学院
秀明大学大学院
攝南大学大学院
大東文化大学大学院
筑波大学大学院
名古屋学院大学大学院
福島大学大学院
早稲田大学大学院

北京外国語大学に入学して…

手厚い指導と多国籍の人たちとの触れ合い、自分の好きなことを追求できる大学

茨城県・学校法人清真学園高等学校・中学校 清真学園高等学校出身
2020年入学(29期生) 2年生



大塚 笑

私が北京外国語大学に入学を決意した要因は、自分の価値観や視野を広げることができる大学だと思ったからです。中国語は英語と同様に、何億人もの人たちに使われる言語で、学べば学ぶほど新しい発見があり、奥深い言語です。中国の首都であり、凄まじい発展を遂げている北京に身を置くことにより、日本とは異なった価値観に触れることができます。

北京外国語大学に入学してやりがいや楽しさを感じることは主に二つあります。

一つ目は、先生や大学院生の方たちの手厚いご指導です。実は、新型コロナウイルスの影響で、入学したときから自宅でオンライン授業を受けていました。オンライン授業でも、先生が一方向的に教えるのではなく、生徒一人一人が発言できる機会が設けられ、途中でわからなくなっても、先生方が優しく少しずつ教えてくださるので、遠慮なく先生方に頼ることができます。

中国人の大学院生の方が週に1回の頻度で、授業で課されている課題に関する個別指導をしてくださり、私が中国語でわからないところなどを伝えると、大学院生の方がその場で教えてくださり、お互いが切磋琢磨し合って、中国語のレベル、教える力を高め合うこともできました。

二つ目は、多国籍の人たちと触れ合える機会が多いことです。毎週土曜日に「漢語角」という交流会があるのですが、そこには中国人だけでなく、韓国人やマレーシア人など私と同じく中国語を学ぶ仲間が集まります。オンラインで行っていましたが、毎回提示されるテーマに合わせてお互い話合いますが、それとは別に小さなディベート大会も行っています。ディベート大会に参加する際は、国籍を越えて、メンバーと力を合わせて討論に臨みます。このようなイベントを通じて、中国語、そしてコミュニケーション能力を高めるとともに、中国以外の国の事情について学ぶこともでき、多くの友だちを作ることができます。

今後の目標としては英語と中国語以外の言語にも挑戦し、3年時には経済貿易コースを専攻し、知識と経験を積んでいきたいです。

実際に中国で生活することによって、得られるものがとても多い

北海道・学校法人北星学園 北星学園大学附属高等学校出身
2020年入学(29期生) 2年生



渋谷 京平

私は高校生のときに中国語を学びたいと思い、中国語を学べる大学を探していました。そのとき、同じ高校の先輩方が多く進学している北京外国語大学中文学部を見つけました。北京外国語大学中文学部に入学しようと決めたのは、高校3年生の夏休みに北京外国語大学中文学部夏季研修ツアーがあり、それに参加し実際に北京に行って数日間北京での生活をしたときです。キャンパス内には中国人だけでなく世界各国からの留学生もいて、サッカー場やテニスコートなどで中国人や留学生がコミュニケーションをとっていたりしているのを見て、日本では絶対に経験することができない体験ができると感じました。

日本で中国語を学ぶより、中国現地で学んだ方が中国語に触れる回数が日本にいるよりも数倍増える。さらに他の国からの留学生とも交流ができて、実際に中国で生活することによって、中国の文化や生活習慣も同時に学べることができ、得られるものがとても多いと思い入学を決意しました。

新型コロナウイルスによる影響を受けて、4月からオンライン授業で中国語の学習が始まりました。私は中国人のハーフではなく、入学する前は「谢谢」や、「你好」しか理解しておらず、中国語を話すのはもちろん、中国人の先生が話す授業内容も理解するのが困難でした。それでも毎日の予習や復習——録音を聞き返したり、宿題を解いたり、また、私が単語の声調を間違えると先生方が正しい発音を教えてください、駐在員の方や中国人の大学生による補習もあり、お陰で、先生の話す中国語を少しは聞き取ることができるようになり、今では楽しく授業を受けることができます。

さらに、中国語の授業だけでなく日本人講師による授業もあり、中国語だけでなく「メディアコミュニケーション論」や「日中文化比較論」なども学ぶことができます。

放課後はまだ会えていないクラスの友だちとも、ミーティングソフトを利用してコミュニケーションをとったり、授業のわからないところを教え合ったりするなどして、オンライン授業ながら大学生活を楽しめたと思います。

今後はもっと中国語を勉強して、大学を卒業してから大学で学んだ中国語を使って社会に貢献できる仕事先に就職したいと考えています。

これから中国語を学ぶ場合は、大学に合格してから入学して授業を受けるまでに中国語の知識が「ゼロ」のままではなく、中国語のドラマを見たり音楽を聞いたり、簡単な文法を理解して中国語に触れておくといいと思います。

北京外国語大学に入学して…

自分をもっと成長させたい……と思っている方、ぜひ一緒に勉強しませんか！

東京都・学校法人桜美林学園 桜美林高等学校出身
2020年入学(29期生) 2年生



高山 晟樹

中国語に初めて出会ったのは中学生のころでした。そこから中国語に興味をもち始め、高校では野球部に所属しながら選択授業で中国語をとっていました。もともといつか役に立つだろうという思いで始めたので、中国の大学に進学するとは思っていませんでしたというのが正直なところ。それでも私は、日本のさまざまなことを一度外から見てみたい、言葉も文化もまったく違う外国に行き自分を成長させたいという思いから北京外国語大学に入学することを決めました。

さて、入学する直前、新型コロナウイルスという予想もしない敵が現れ、私たちの渡航の時期をずっと引き延ばしています。そのため、4月に入学はしたものの一度も現地に行けず、11月になっても、日本で授業を受けていました。しかし、毎日授業を中国語で受けていると、日本にいながらでも中国語のレベルは入学したのときより格段に上がっていることがわかります。オンラインの授業でクラスメイトと仲良くなれるか心配していましたが、カメラをつけての授業が多かったことや、インターネットを使つての授業時間以外の交流もできたりしたことで、実際に会ったことがないクラスメイトとも仲良くなれました。クラスメイト同士でわからない箇所を協力して解いたり考えたりしているので、クラスの雰囲気もとてもよいです。

この大学に入ってから学習面や生活面、多くの場面で自分の意識がいい方向に変わった気がします。語学学習は日々の積み重ねが大事なので日々の予習復習はもちろんですが、生活の中でも中国語のことを考えることを無意識にするようになり、気づかないうちに自分の意識が中国語ベースになっていることを嬉しく思っています。

中国語の勉強を始めたときから、将来は中国語を使って外国の人と一緒に仕事をしたいと思っています。具体的なことは決めていないのですが、北外で勉強して身についたものを自分の武器にできる職に就きたいと思っています。

日本を違う角度で見ると、今まで当たり前だと思っていたことが当たり前ではなく恵まれていることに気づけることも増えます。自分を試してみたい、自分をもっと成長させたい、日本では味わえない生活や文化に触れてみたい、自分の視野を広げたい、そう思っている方はぜひ私たちと一緒に勉強しませんか！これから中国語の時代が来ると思います。今本場の中国語に触れることは皆さんの将来に必ず役立つと思います。(写真右が筆者)

学びたいという意欲さえあれば多くのサポートをしてくれる素晴らしい大学！

さいたま市立浦和高等学校出身
2020年入学(29期生) 2年生



原 なな香

新型コロナウイルスの流行により、楽しみにしていた現地での留学生活1年目はオンライン授業となりました。徐々に警戒も解け、周りがだんだんと通学するようになっていく中でオンライン授業は、想像よりも大変で、遊ぶ約束をしながらも当たり前前に友人に会えるありがたさを実感しました。そんな中でも、先生方が中国の現地の様子を写真で伝えてくださったり、現地の大学院生が会話レッスンをしてくださったりと、家にいても少しでも中国文化を知ることができるように考えてくださいました。そのお陰で入学当初まったく聞き取れなかった中国語も今では先生の話が理解できるようになり、質問に答えたり自分の考えを話せたりできるようになりました。

将来に特に明確な目標はありませんが、卒業後は多くの国の方々と関わる仕事がしたいです。そのために、今は中国語を通して自分の将来の可能性を広げられるように、多くのことを経験したいと考えています。“留学”という道を選んだことを意義のあるものにするために、また留学を認めてくれた両親に恩返しができるように、中国語を学ぶだけでなく、自分から積極的に行動し、多くのことを吸収したいです。

最初の1年間は、初めてのことがばかりで思い通りにいかないこともありました。北京外国語大学を選んで後悔したことは一度もありません。日本で授業を受けていても、この大学に入学してよかったと実感できました。実際に中国に行くと、友人や先生と対面で学び、学んだことを日常生活でいかせる環境が楽しみで仕方ありません。

私は新型コロナウイルスの流行により、まだ先輩方のように留学の魅力伝えることはできませんが、この大学には尊敬できる先生、頼りになる駐在員の方、切磋琢磨し合える友人がいることは間違いありません。学びたいという意欲さえあれば多くのサポートをしてくれる素晴らしい大学です。ぜひ皆さんもここ北京外国語大学で中国語を学んでみませんか。(写真左が筆者)

北京外国語大学に入学して…

新しいことに挑戦し続ける、母国語ではない二つの言語を使って生活をしたい！

大阪府・学校法人大谷学園 東大谷高等学校出身
2020年入学(29期生) 2年生



右田 笑鈴

私は高校での1年間ニュージーランドに留学をした経験があります。留学先では現地の人々だけでなく、さまざまな国からの留学生と関わる機会が多くありました。私の通っていた現地校は中国からの留学生が多く、中国人の友だちがたくさんできました。日本にいるころ、私は中国人に対して「声が大きく少し威圧的」というイメージをもっていました。しかし実際に話してみると明るく親切な人も多く、中国人に対するイメージが大きく覆されました。

日本に帰国後、「中国の人々や国についてもっと知りたい」と思い、英語と中国語を学べる地元の外国語大学への進学を考えていました。何度もオープンキャンパスを訪れるうちに、英語が母国語ではない留学生が英語と日本語を使って日本人学生と交流しているのをよく見かけました。それを見て「私も彼らのように母国語ではない二つの言語を使って生活したい」という想いを抱くようになりました。そんなとき高校の指定校推薦の欄に北京外国語大学の名前を見つけ、「ここしかない！」と思い北京外国語大学への入学を決意しました。

新型コロナウイルスの影響で、1年時は実際に大学に通い現地の学生や海外からの学生と交流することはできませんでしたが、オンライン授業や課題を通して毎日中国語に触れる機会があり、中国に渡航できないながらも充実した大学生活をおくれました。毎日継続して予習と復習、課題をこなす中で、最初はまったく聞き取れなかった授業の内容も今ではほとんど問題なく聞き取れるようになり、会話も簡単なものであればできるようになりました。内容が理解できず辛かった授業も丁寧に指導してくださる先生方に恵まれて、今では楽しんで受けることができるようになりました。これからも中国語と英語の学習を継続し、大学卒業後は中国語と英語と日本語を使って国と国をつなぐ仕事をしたいと考えています。

最後に、もし北京外国語大学に入学しようか迷っている方がいるのであれば、思い切って挑戦してほしいです。新しいことを始めるのは大変かもしれませんが、うまくいかないこともたくさんあります。それでも北京外国語大学でしかできない経験や、出会いを思うと心の底から北京外国語大学に入学を決意してよかったと思うことができます。私のように皆さんも一歩踏み出して、北京外国語でしかできない体験をしてみませんか。

皆さんと会える日を楽しみにしています。

北京で中国語を学べる環境は香坂班だからこそ、4年間の留学は濃い時間になる

岡山県立玉島高等学校出身
2019年入学(28期生) 3年生



松岡 勇磨

皆さん、こんにちは。私が北京外国語大学へ進学した理由、そしてよかったことを、香坂班のことを交えてお話ししたいと思います。

まず私が北京外国語大学への進学を決めた大きな要因は、まったく中国語がわからない状態で最初の2年間、中国語だけを集中して学ぶことができることにあります。私も「ニーハオ、シェイシェイ」しか知らない状態で留学生生活をスタートしましたが、3カ月たったころには、中国人の会話が少し聞き取れるようになったり、簡単な会話ができるようになりました。次に大きな要因となったのは4年間の留学ができることです。4年という長期間、中国の都市北京で過ごしながら中国語を学べる環境はこの香坂班だからこそだと思います。中国語だけでなく、中国の文化や習慣、他国の留学生との異文化交流によって、さまざまなことを経験できます。現地にいるからこそ、教科書や日本の大学では学べないことも多く得られます。

2020年は新型コロナウイルスの影響で私も日本に帰国してオンライン授業となりました。しかし大学の先生方、事務所(NPO国際交流教育後援会)の方のお陰で、留学はできなくても、補習講座などでいつでも気軽に質問をしてくれるので、成長したと感じられ、日本にいても頑張れます。新型コロナウイルスの状況下になって、こうしたサポートがあることの有り難みをつくづく感じています。

北京外国語大学にはさまざまな国の留学生が多く在校し、周りには世界遺産や北京動物園、大きなショッピングモール、有名な北京大学、清華大学など多くの興味深い場所があるので、放課後や休日に遊びに行くのによいところだと思います。

最後に、皆さんに私の経験から得たアドバイスを授けたいと思います。中国語初心者の方なら、可能でしたら留学前に拼音を少しだけでも勉強していったら、よいスタートを切ることができると思います。また、中学生レベルの英語を身につけていれば、中国語が通じないというときや他の国の留学生とのコミュニケーションに役立ちますよ。あとは、やはり日本を離れると少し恋しく思うときもあるので、日本を感じられるものや食べ物などを持参することをおすすめします。

北京外国語大学での経験は、人生の中で大きく濃い時間になると思います。これを読んでくれている皆さんと北京外国語大学で会えることを楽しみに待っています。

(写真右が筆者)

北京外国語大学に入学して…

親元を離れ初めて送る海外生活はドキドキとワクワクに満ちあふれている

千葉県・学校法人日通学園
流通経済大学附属柏高等学校出身
2019年入学(28期生) 3年生



宮島 明里

早くも北京外国語大学に入学し、2年の月日がたちました。私は中国語を学ぼうと自分の意思を固めたとき、何か今までできなかったこと、4年間という貴重な時間を使って何か特別なことをしたいと考え、語学力がゼロからでも4年間中国で勉強に励める香坂班への入学を決めました。

親元を離れ初めて送る海外での生活は、1年生のころは周囲にあるものすべてが新鮮で、食事を取るのも、銀行にお金を下ろしに行くのも、買い物に行くのも、今までの“当たり前”の行為がドキドキとワクワクに満ちあふれていました。確かに中国語の習得は日本国内にいてもできるかもしれませんが、ですが、現地の空気に触れ、習ったばかりのフレーズを日常生活に取り入れることができる環境がすぐ隣にあるのは、現地で語学を学ぶ醍醐味だと思います。

私が留学生活の中で大切にしていきたいと思っているのは“交流”です。平日は授業の予習と復習に励み、週末はできるだけ現地で作った友人と遊びに行くようにしています。長期休暇を利用して、友人の実家である内モンゴルに遊びに行ったこともありました。北京と内モンゴルは地図で見るとそんなに離れているように見えませんが、話している言葉のイントネーションは180度変わり、街の雰囲気、気候などが北京とはまったく異なっていて衝撃を受けました。例えば、内モンゴルの街中に点在する看板や、建物には必ず、中国語と一緒にモンゴル語の表記があります。中国には55の少数民族がいて、国内でもいろいろな思想や文化が根付いています。それを直接感じることができるよい機会でした。留学生活は机上の勉強だけに留まらず、じかに肌で感じる刺激がとても多く、間違いなく有意義な1年であったと言えます。

コロナウイルスの影響で4月からずっと日本でオンライン授業を受けました。正直、ネット上で行われる授業に味気なさを感じることもありますが、友人とオンラインで決まった曜日に会話の練習をしたり、日中交流を目的とした学生団体に所属し、ときにはオンラインで開催される催し物に参加したりと、中国語・中国に関わる交流を大切に生活しています。私は、今を準備のときと考えています。コロナウイルスが収まり、対面授業が再開されれば、この間に積み上げてきたものを発揮して、現地でいろんなことやものに触れ、より見聞を深めることができます。

留学する4年間は何ものにも変え難い貴重な時間になると思います。また、貴重な時間になるように努力することもきっと未来へつなげる経験になるだろうと信じています。初心を忘れずに残りの大学生活も精一杯努力していきたいです。

入学してよかったことは中国人のイメージを覆すことができたこと

東京都・学校法人渡辺学園
東京家政大学附属女子高等学校出身
2018年入学(27期生) 4年生



古屋 茉那

こんにちは！

私は高校生のときに漠然と中国語を学びたいと思い、「ゼロから中国語が学べる」香坂班に興味をもち北京外国語大学へ進学することを決意しました。個人的には中国語学習は英語学習に比べ参考資料が少なく敷居が高いというイメージでした。日本でなんとなく学んでも、すぐに忘れてしまったものにはできないのではないかと思っていたので、現地で中国語を学べて、なおかつ中国語力がゼロでも受け入れてくれるというのは、私にとって決め手となりました。

入学してよかったことは中国人のイメージを覆すことができたことです。留学生活をしていると、外には中国人であふれているのが普通状況になります。良い面でも悪い面でもその地での生活や人々の感情など、とても身近になります。気前がよく頼りになる温かい人情を現地では多くの場面で感じとれると思います。

新型コロナウイルスの状況下、1年時には北京に戻れませんでした。本来の現地での学びがどれほど貴重であったかを確認する一方、先生方のオンライン授業に対する真剣な取り組みのお陰で、形は違えど、質の高い学習ができました。

新型コロナウイルスによって世界は大きく変わってしまいましたが、それは日本も同様です。多くの経済損失によって、今まで通りに就職し今まで通りに働いていくというのは難しいのではないかと不安になっています。

北京外国語大学で中国語を学んだ私たちには、確実な言語能力と、生活から得たコミュニケーション能力と対人スキルが、これから生きていくのに必要な武器になると思います。確実な言語能力を証明するためにはHSK、中検などの資格は取っておいて損はないと思います。

残り1年のうちに穏やかに安心して北京に戻る保証はまだありませんが、手洗い消毒など自分ができることは最低限行いながら、世界の状況が少しでも改善していくことを今は祈るばかりです。

北京外国語大学に進み中国語を現地で学習するという道が、ここで途絶えないことを願っています。

私たちの一年

春

【国際嘉年華】国際嘉年華と呼ばれる留学生の文化祭。さすが北外、グローバルな大学です。

【入学式・市内観光】初めて会った香坂班の仲間と入学式・市内観光へ。新しい仲間との大学生活が始まりました！

夏

中日青少年交流促進年開幕式
日中青少年交流推進年オープニングセミナー

【国内旅行】夏休みを利用して友達と中国国内を旅行。授業で勉強した中国語を使うように頑張りました！

秋

【サークル・課外活動】学部や大学を越えてさまざまな人との出会いがあります！

【「万里の長城」観光】学校のイベントで世界遺産「万里の長城」へ！スケールが大きくてビックリです。

冬

「I ♥ 中国」

【香坂班の仲間】もう1年生が終わろうとしています。香坂班の仲間と一緒に、残りの留学生活も楽しみます！

【漢語角（中国語コーナー）】毎週木曜日のお昼は中国人と留学生の交流イベント「漢語角」で中国語力を伸ばします。

2019年夏季研修ツアー（9泊10日間）

2019年夏に実施した北京外国語大学夏季研修ツアー（9泊10日間）の様子をお届けします。毎年夏に実施する予定ですが、興味がある方はお気軽にお問い合わせください。

私たちの一年／夏季研修ツアー

卒業生からのメッセージ

自分から行動し、世界各国の留学生と交流でき、人脈を広げることができた



北海道立礼文高等学校出身
2021年卒業（26期生）

佐藤 礼実

皆さんこんにちは！ 私は将来中国語をいかして仕事がしたいと思い、中国語が学べる大学を探しました。そこで香坂班を知り、日常生活から中国語や文化に触れ合うことができ、日本で学ぶよりも早く語学が上達できるのではないかと思います、留学を決意しました。新しい地で生活するのは不安もありましたが、何よりも4年間の大学生活を有意義で貴重な時間にしたという思いが強かったです。去年は新型コロナウイルスにより、最後の1年間で日本で過ごすことになりましたが、3年間の留学生生活を振り返ると、毎日が刺激的で私の人生を豊かにしてくれました。北京外国語大学に入学してよかったと思ったことを、ここで少し皆さんとシェアしたいと思います。

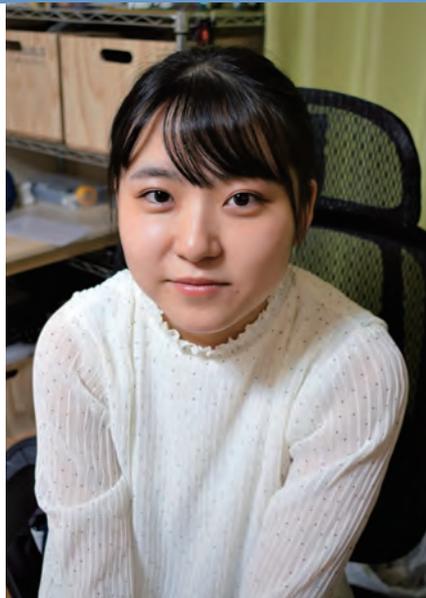
一つ目は世界各国の留学生と交流できた。——北京外国語大学には世界各国から留学生が集まり中国語を勉強しています。授業で学んだ中国語をいかし、さまざまな人と交流し、その国の文化や考え方に触れることができました。外国人留学生の多くはポテンシャルが高く、学ぼうとする姿勢が強いのので、彼らというと自分に刺激を与えてくれます。放課後や休日にみんなで街へ遊びに行き、たくさんの方の友人を作ることができました。

二つ目は人脈を広げることができた。——北京には日本全国から留学生が集まっています。長期留学生だけでなく、短期留学で毎年たくさんの学生が来ています。また、郊外の社会人サークル活動に参加し、北京に駐在する社会人など、日本では関わることができない方々と交流することができました。自分にはない角度からの意見や将来についてアドバイスを受け、人生観を聞くなど、価値観や視野を広げることができました。

まだまだ伝えたい留学の魅力がたくさんあります。留学生活では毎日が新しい発見や出会いがあります。ですが、その出会いや発見は自分から行動をしないと訪れません。自分の人生を豊かにできるのは自分しかいません。少しの行動が人生を変えてくれるきっかけになることもあると思います。私は留学という一歩を踏み出し、高校生のときの自分には想像もつかないような出会いと、かけがえのない経験と、思い出を得ることができました。この出会いと経験はこれからもずっと続き、思い出はこれからも自分の中に残っていきます。

就職は当初の目的であった中国語をいかす仕事に就くことができました。これからは留学生活で培った語学力と経験をいかしつつ社会に貢献していきたいです。このメッセージが、留学するか迷っている方や留学に興味がある方が少しでも一歩を踏み出す原動力になればな、と思います。

行動するのも選択するのも自分、悔いのない大学生活にしてください



岩手県立一関第一高等学校出身
2020年卒業（25期生）

千葉 由貴

私が北京外国語大学に進学した理由は二つあります。一つ目は「語学を勉強するうえでは環境がいちばん大事」と思ったからです。語学に関わらず何事もそうですが、どのような環境で取り組むかは結果に大きく影響します。留学という環境を選択することが中国語習得においていちばん効率がよく、得るものが大きいと思いました。二つ目は「世界を見てみたい」と思ったからです。私の出身は岩手県で、高校卒業までの18年間地元岩手で生活していました。田舎で生活する中で、世界を見てみたい、いろいろな価値観の人に出会いたい、新しいことに挑戦したいと思うようになり、留学することを決めました。

北京外国語大学に留学してからの生活はとても充実していました。朝から晩まで授業とクラブ活動に打ち込み、毎日楽しく過ごしました。授業で習った中国語を夕方のバスケットボールの部活でチームメイトとの会話に使ってみたりして、その日に習ったことを忘れないように心がけました。インプットだけでなく、アウトプットができる環境に常にいた——留学を決めて本当によかったです。授業以外の時間をどのように過ごすかはすべて自分の自由です。私はいきなり中国語を自然にしゃべれるようになりたかったので、バスケットボールを通して中国人の友だちをたくさん作りました。やはりスポーツの力は偉大で、すぐに打ち解けることができたので、スポーツが好きなのは、部活やサークル活動に参加することをおすすめします。大会に参加し目標に向けて一緒に練習したり、中国の文化習慣を教えてもらったり、中国語の習得以外にも得られるものはたくさんあります。

就職についてですが、私は半導体関係のメーカーに就職しました。近年の中国の経済成長のスピードはすさまじく、特にネットを利用したビジネスは時代の最先端を走っています。そのような状況下で日本のどの分野が世界に通用するかを考えたとき、私は「ものづくり」だと思いました。日本のものづくりの高い技術力はまだまだ世界に引けを取りません。デジタル化や5Gなどこれからますます伸びる分野だと思い、現在の会社に就職を決めました。中国語をいかしながら営業職として働いています。

4年間の留学生活の中で、言語も背景も異なるさまざまな人に出会い意見を交わすことで、自分の価値観が大きく変わりました。皆さんも今までにない経験を通して、新しい自分に出会えると思います。行動するのは自分です。選択するのも自分です。悔いのない大学生活にしてください。

卒業生からのメッセージ

4年間の濃い経験を自身の言葉で熱く伝えよう、一歩踏み出せば世界は広がる



埼玉県立南校高等学校出身
2015年卒業（20期生）

新道 義也

私は高校のときから中国に興味があり、大学で中国語を勉強し、将来はアジアを中心に対外的な仕事をしたいと考えていました。中国語を勉強するのであればいきなり中国語を身につけたいと思い、北京外国語大学への留学を選択しました。

北京外国語大学での生活は、もちろんですが、授業以外でもあらゆる場面で中国語を使わなければなりません。授業で習ったことをすぐにかきかせる場面が至るところに散らばっています。

北京外国語大学は中国で外国語教育を行うトップクラスの大学で、北京大学などと並ぶ国の「重点大学」の一つです。在籍している中国人学生も勉強に熱心で、相互学習という形で中国語をブラッシュアップできる環境も豊富です。相互学習の相手のことを「語伴」といいますが、私の語伴は長期休暇には彼の家で中国の生活を体験させてくれたりもしてくれ、語学学習だけの関係を越えて「友情」につながりました。日本ではなかなかできない体験だったと思います。

中国でのさまざまな経験を経て、現在は海上コンテナを販売する会社に勤務しています。恥ずかしい話ですが、私は何度か転職をしております。転職活動をする際には必ず「中国語を使う仕事がある」ことを念頭に臨んでいました。しかし、就職活動や転職活動では中国留学や中国語の成績だけでは成功は難しいと思います。厳しい言い方になってしまうかもしれませんが、中国に留学すればどの大学もカリキュラム自体はほとんど同じです。その4年の生活を色鮮やかにしていくのはすべて自身の行動次第だと思います。4年間で培った内容の濃い経験を自身の言葉で熱く伝えることができれば、就職活動も乗り越えられると思います。

上述した通り、私は現在コンテナ会社にて勤務しています。毎日、中国の製造工場と連絡を取り合うなど、今まででいちばん中国語を使う機会があり、とてもやりがいを感じています。今後はさらに業界の専門用語の知識を増やし、中国側とも臨機応変に対応できるように日々精進してまいります。

これから留学を考えている皆さんもぜひ、北京外国語大学で内容の濃い4年間をお過ごしください。私の言葉が留学生活の第一歩を踏み出す一助となれば幸いです。

今後、外国人市民とコミュニケーションがとれる人材は強みになる



栃木県立壬生高等学校出身
2013年卒業（17期生）

鈴木 幸子

私が北京外国語大学への進学を決めた最初のきっかけは「英語が好きだから」でした。小学生のとき、最初に触れた外国語である英語を勇気を振り絞って使い、初めて外国人の人に伝えたいことが通じたときのあの感動を、私はずっと忘れられませんでした。勉強した言語を使い、いろいろな国の人と話をし、自分の知らない世界のことが少しずつわかっていくという感覚は、外国語を学ぶ楽しさを感じる一コマでもありました。そんな感覚をもっと味わいたい、もっと外の新たな世界をこの18歳という多感な年齢のときに見たいと思い、知り合いが北外の卒業生だったというご縁にも恵まれ、北外へ進学することを決めました。

北外を卒業してから今思うことは、あのとき決断をして本当によかった、本当にもうそれだけです。当時から好奇心旺盛な私でしたが、北京への渡航前は不安がいっぱいで、怖さもありました。ですが、渡航して授業が始まったころには、授業についていくのに必死で、もう怖さなどなくなっており、逆に一日一日が新たな楽しみの場なり、新たな発見の連続でした。中国での4年間を通じて、自分の世界が何十倍にも広がった感覚がしています。

今、私は市役所で国際交流に関わる仕事に従事しています。具体的には、中国国籍の方を含む市内の外国人住民の生活を支援する業務や、日本人と外国人住民同士の交流促進事業、また姉妹・文化友好都市と交流を行うときの担当者になったりと、業務は多岐にわたります。大学生活の中で培った経験や感覚は、中国の方をはじめさまざまな国籍の方と関わるうえで大変重宝しています。今後、日本では外国人住民が増加することが予想されているため、外国語が話せるということだけではなく、さまざまな環境に身を置いている外国人市民と分け隔てなくコミュニケーションがとれる行政職員は大変貴重な人材になっていくと感じています。

「挑戦すること」の大切さ教えてくれたのは北外でした。中国語を一度も学んだことがなく、右も左もわからない環境で4年間一所懸命勉強し生活できたのは、北外の先生方や香坂班の関係者の皆様、仲間たちのお陰です。感謝の気持ちでいっぱいです。

今、進路に悩んでいる皆さんには新たな挑戦をして、自分自身の強みを得てほしいと心から思います。その強みがこの先の長い人生の中で、自分自身の最大の味方になります。今しかできない経験から、自分にしかない強みを手に入れてください。心から応援しています！

Campus life

北京外国語大学は、中国の政治と経済の中心である北京の西北に位置し、勉学に最適な落ち着いた環境の中にあります。公園と見まがうばかりの広い緑に包まれたキャンパス。その中に点在する校舎や宿舎。外国語学部では101言語の外国語教育を行っているため、キャンパスは世界各国の若者たちでいっぱい。ひと声かけるわずかの勇気さえあれば、世界各国の留学生の中から一生の友人が得られることも。また、先生や職員の方たちもキャンパス内に居住しています。

旅行

北京外国語大学のある首都北京は、中国を代表する大都市です。中国の国土は広く、風光明媚で雄大な自然遺産や歴史的文化遗产は多く、そのスケールの大きさに魅了されます。旅費はかなり安く、夏休みや休日を利用して、学友を誘い合っの旅行は格別です。



クラブ活動

北京外国語大学は、同好会やクラブ活動が盛んです。スポーツ系のサークルでは日々、学生たちは青く広がる空の下、心地よい汗を流しています。他の学部の中国人学生、多くの国からの留学生と一緒に活動は国際性を育てるよい機会なので進んで参加しましょう。



北京外国語大学 中文学部 東京事務所 Twitter ▶ [@bfsu_kousaka](https://twitter.com/bfsu_kousaka)

東京と北京から、受験生に役立つ情報を発信中！
現役留学生たち(香坂班)の、日々の出来事や学校・街の様子などのフレッシュな情報を随時更新しているので、現地のリアルなキャンパスライフを感じることができます。もちろん受験情報や、北京情報も掲載中。現役の学生の投稿もあるかも!?

Twitterでもっと「香坂班」を身近に

最新の説明会
情報をチェック

北京での現役学生
たちの日常をチェック

香坂班に関する
アレコレをチェック

世界各国の留学生たちと過ごす、 充実のキャンパスライフ。

仲間

キャンパスで出会うたくさんの仲間たち。校内で語り合ったり、食事をしたり、一緒に旅行をしたり、その楽しさは世界共通です。4年間で知り合う多くの国から来ている留学生は、自分の将来へとつながる生涯の宝物となるでしょう。



留学生寮での生活

4年間の留学生活は白楼（西院）、国交楼（東院）が拠点です。各個室には電話もつき、インターネットの接続も可能です。教室は国交楼隣接の建物です。広いキャンパスの中で、中国人学生やアジア、欧米からの留学生とのお付き合いも始まります。食事は校内の一般学生食堂で3食ともとることができます。その安さとボリュームに圧倒されるはずです。



短期留学・大学院留学のご案内 ▶

北京外国語大学・中文学部では、半年～2年の短期留学を年2回募集しています。高卒資格者で60歳までと、幅広い年齢層に対応して、各留学生のレベルに合わせた講義を受けることができます。留学中は、本科生と同等のサポート体制をとっています。また、大学院博士課程前期・後期の留学生も募集しています。

大学生の海外体験

資格取得をめざす

転職中のスキルアップ

詳しくは下記までお問い合わせください。

北京外国語大学
中文学部 東京事務所

03-3363-0578

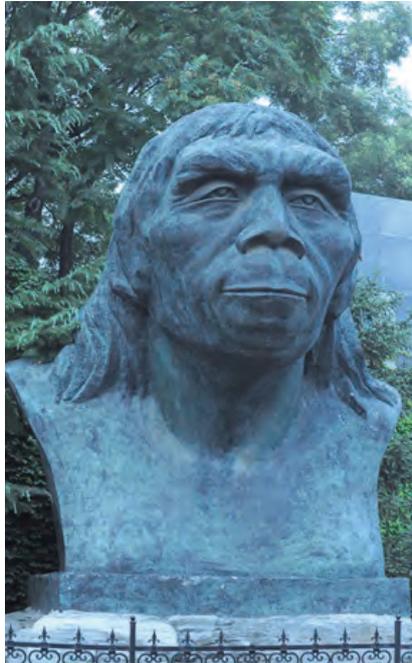
歴史と新しさがせめぎあう街

北京

Beijing

北京(ペキン)は、中華人民共和国の首都、中国の文化・政治の中心です。国の直轄市。国の東部、河北省の中央部に位置しています。古くは燕京・北平・大都ともいわれました。面積約1万6411km²、人口約2153万6千人(2019年)。広さは日本の四国に相当します。行政機能が集積している他、紫禁城や天安門広場、庭園、古くからの街並みである胡同などがあり海外からの観光客も多く訪れる都市です。2008年には夏季オリンピックが開催され、2022年には冬季オリンピックが開催されることになり、街は現在も発展を続けています。

(写真提供は中国国家観光局駐大阪代表処)

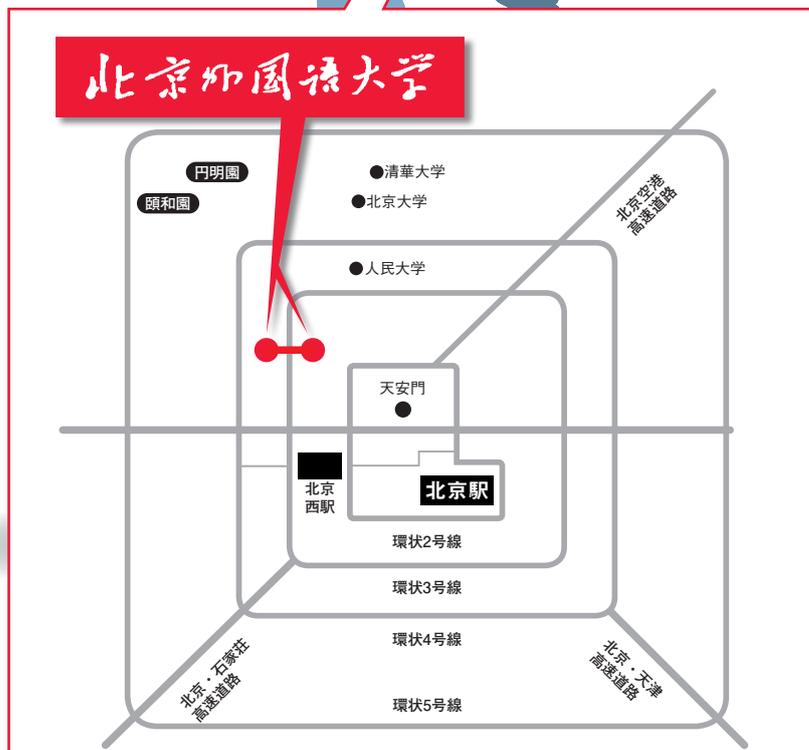


北京市の基本情報

面積	約1万6,411km ²						
人口	約2153万6千人(2019年)						
GDP	約23,800ドル/人(2019年)						
行政区	16区	東城区 丰台区 昌平区	西城区 通州区 大興区	海淀区 房山区 平谷区	石景山区 順義区 懷柔区	朝陽区 門頭溝区 延慶区	密雲区
友好都市	東京(1979) ニューヨーク(1980) ソウル(1993) ハノイ(1994) モスクワ(1995) パリ(1997) ローマ(1998) など 55都市						



北京(所在地)



北京師範大學

中華人民共和國 100089
北京市海澱區西三環北路二號

北京外国語大学

中文学部 東京事務所

特定非営利活動法人 国際交流教育後援会

〒160-0023 新宿区西新宿7-2-10 栄立新宿ビル301

TEL(03)3363-0578 FAX(03)3371-2278

e-mail: info@pekingaidai.gr.jp



学校法人 東京国際学園

東京外語専門学校

〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-3-8

TEL(03)3367-1101(代)

WEB www.pekingaidai.gr.jp

f Tokyo Bfsu

北京外国語大学 中文学部 東京事務所 Twitter ▶ [@bfsu_kousaka](https://twitter.com/bfsu_kousaka) P19

短期留学のご案内 P20